

物

理

高3生クラス

物理 (高3生)

宮原 孝之 先生

- 前期は、前半で物理の基本として欠かせない力学を基礎から丁寧に勉強します。入試問題が比較的難しい大学を受験する場合にも力学の基礎なくして高得点は望めません。
前期の後半は熱気体分野と波動分野を勉強します。熱気体分野は物理の全分野中一番基本解法が使える分野です。授業で話した解き方がそのまま使えます。
波動は基本からドップラー効果や光の干渉をマスターします。波動が苦手という人のほとんどが教科書レベルの基本を理解していないだけなので、基礎から丁寧に勉強します。
- 後期は、電気電磁気分野と原子分野を勉強します。電気電磁気分野はこの分野専用の用語が多く出てくるので一つ一つ確実に覚えていきます。
原子分野は、教科書に説明がそのまま出題されるので、覚え方やこの分野特有の知識をマスターします。

化

学

高3生クラス

化学 (高3生)

犬塚 壮志 先生

- 前期は入試の理論化学の全範囲を扱います(ただし、春期講習で扱った「物質の構成」は除く)。理論化学はじっくりと進めていくことでそれぞれの単元の特性をふまえ理解の定着と得点力アップに最重点を置いたカリキュラムにしてあります。また、入試では詰め込んだ知識や理解を解答用紙に表現する力(=アウトプット能力)が何よりも大切になってきます。そのため、通常講義では予習として講義内容の動画を視聴してもらい、その内容をふまえた確認テストを毎回実施します。また、講義内には表現力(=得点力)を鍛え上げていくための演習時間をしっかり確保しており、それも本講座の大きな特徴です。
なお、夏期講習では無機化学(全範囲)と有機化学の「芳香族化合物」までを扱い、10月中までに入試の全範囲が一通り修了するカリキュラムとなっています。そのあとは、それぞれの志望大学を考慮し個別指導も混えた過去問演習を行っていくのも本講座の特徴です。
最初のうちはなかなか成果が見えにくいとは思いますが、入試本番を見据えて地に足を着け、長い目で着実な学習を一緒に進めていきましょう。自分の目標を達成するために努力を惜しまない、そんな人を待っています!

生

物

高3生クラス

生物（高3生）

牧島 央武 先生

- 前期後期、夏期講習や冬期講習を通じて、生物基礎と生物の内容を織り交ぜながら進めていきます。生物は、理系科目の中では知識として暗記しなければならない事項が特に多く、この部分については避けて通ることはできません。授業では、まずは十分な知識を背景と共に定着させることを目指します。情報量が多いためプリント等で補いながら授業を進行していくので、復習を中心にしっかりと学習していきましょう。我々も生物の枠組みの中にいます。枠組みを知ってこそ、自分の可能性をリアルに描けるようになるのではないのでしょうか。